

K773-5 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
の保険収載に関する学会からのお願い

日本泌尿器科学会理事長
藤澤正人
日本泌尿器内視鏡学会理事長
寺地敏郎

2016年3月吉日

1. K773-5、da Vinci を用いた腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術は、径 7cm 以下で転移病巣のない悪性腫瘍に対する腎部分切除術を行った場合に限り算定されます。また、保医発 0304 第 2 号 平成 28 年 3 月 4 日 「特掲診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」第 77 の 3 の 2 にあります施設基準等を遵守してください。
2. 同手術を行うには、両学会が 2010 年 4 月 27 日に制定し、2012 年 11 月 30 日に改定した「泌尿器科領域における da Vinci 支援手術を行うに当たってのガイドライン」（*参考資料）を遵守して下さい。
3. 同ガイドライン 14 項に、「特に da Vinci 支援腎・副腎手術を始めるには、腹腔鏡下腎・副腎手術に習熟した泌尿器腹腔鏡技術認定医の参加または指導のもとに行うこと」とありますが、1 例目を行う時には必ず“腎部分切除”に対応した「泌尿器ロボット支援手術プロクター」を招聘して行ってください。プロクター名簿は日本泌尿器内視鏡学会 Web サイトにあります。

* 参考資料

泌尿器科領域における da Vinci 支援手術を行うに当たってのガイドライン